

三 農民の生活と組織

他の中間層から起つて来るのだから、結核資本家の支持物とならざるを得ぬ。然性をもつてあるのだ。流行を追つてファッショ団体は次から次へと飛出した。日本國家社會党・新日本國民同盟・愛國青年同盟・青年日本同盟・等々から明倫會・猶友會・大化會・金鷄會・産業聯合會・青年部等々數十をもつて數へる団体は結核した。だが流行を追つて飛出したものは、既成ファッショは大きく恐るゝと足らぬ。だが本物のスワフト強力をファッショが今や、起リつゝある。農村に於ては産業聯合會・青訓・在郷軍人等々の動きが注目される。ファッショは意識のおくれを農民も第一に知らしめる。農民は彼等に相俦つて、ファッショを芽の中に踏みにじらなければならぬ。更に又、常に農民大衆の先頭に立つて、斗争の事によつて、ファッショより先に、彼等に食ふものに北を未組織農民を、我々の陣營に獲得しなげなければならない。

二 組織の方針

一 未組織農民の獲得と衰退支部再建  
我々の陣營に組織した農民は、農村の情勢は成熟してある。而もファッショは農民を第一の食糧作物にすべく、その魔手そのはしを未組織獲得の爲には、單に小作争議でなく、先に一般斗争方針を述べた如く、我々の生活に關係あるあらゆる斗争題目が常に斗争は、これに彼等を引き入れ、行わねばならぬ。未組織農民は全農が食はずさういふの故、斯様に食はずさういふ者を組織するためには、常に我々は先頭に立つて斗争はねばならぬ。こうして行つてこそ全農がミカももつた存在になつて来るのだ。  
更に衰退支部の再建がある。今年は五つの衰退支部を再建したが、更に多数の支部を再建しなければならない。此の組織の拡大強化に於ては、本部は目標地帯と連絡する支部と連絡をとつて、二、三、四、五等の持ち込みによつて彼等に全農の斗争を知らししめよう。食ひ入らなければならぬ。  
二 全農の統一  
我々の組織は全農を中心にする。全農について、色々の解散が現在進行中だが、我々の全農を戰争的見地から土地斗争を持つもの、即ち小作農又は小作自作農を見ぬ。だが組合は二の全農がけにとり、即ち小作農と全農の統一を立すべし。これは決つてある。だが多くの支部が組合は、二